

平成 25 年度 第 1 回越前町地域公共交通会議

議 事 録

開催日時：平成 25 年 4 月 19 日(金)

午後 2 時から午後 3 時 20 分まで

開催場所：越前町役場 別館 2 階 大会議室

●出席者

・委員：17名

(欠席者2名 佐々木委員 河原委員)

・事務局：6名

吉田総務理事、出口まちづくり課長、藤崎課長補佐、小山主査、河合主査、藤野主事



●議事概要

(1) 平成 24 年度コミュニティバス及び路線バスの状況について

事務局	事務局より説明
青柳委員	コミュニティバスを丹南病院まで運行して欲しいとの意見を聞きます。
事務局	丹南病院へのコミュニティバス路線延長は不可能ではないが、現在、織田神明間を福井鉄道鯖浦線が運行しており、昨年末から丹南病院正面玄関前まで乗り入れを開始した。路線バスと路線が重複し競合することや、行政区を越えての運行は、鯖江市との協議も必要となるので慎重に検討したい。
浅沼副会長	平成 25 年度中の路線バス、コミュニティバスの計画変更は予定しているのか。
事務局	平成 25 年度中には、運行改正を考えていない。コミュニティバスは平成 23 年 6 月の運行改正から 2 年経過したので、運行状況を踏まえ、ほとんど予約がないデマンド便は廃止し、ほぼ毎日のように運行している便は、デマンドから定時定路線へ昇格するなど今後検討し、交通会議に諮らせていただく。

(2) 平成24, 25年度国庫補助事業（地域公共交通確保維持改善事業）の事業評価について

事務局	事務局より説明
柴田委員	事業評価書の目標効果達成状況についての内容が具体性に欠けるため、文言の一部改めるほうが良い。
事務局	評価書中の事業の今後の改善点（全路線）を、“予約の少ない便の廃止を検討し、予約が多い便は定時定路線へ昇格する”と具体的な文面に改める。 評価書中目標効果達成状況についても、言い回し等を会長と副会長と協議し、調整することとします。
浅沼副会長	目標効果達成状況ではマイナス面のコメントしかないが、交通弱者の移動を確保したこと、交通空白地域の解消、病院通院への利便確保なども明記した方がよいのでは。
事務局	文面を改めます。内容については、利便確保などのコメントを挿入し、会長副会長と内容について別途協議します。
高橋委員	デマンド便の予約をするのに抵抗があると聞く。
事務局	予約制を取り入れて2年経過します。広報誌や各種広報媒体を用い、周知を行っているが、未だに電話予約が面倒だと役場にも連絡がある。また、乗務員を通し、不便であるという声も聞く。対応策として、毎日電話することが面倒であれば、1週間や1ヶ月でもまとめて予約受付できるし、織田病院窓口や地区コミセンでも受付体制を確保しています。周知不足ということもあるので、PRは今後も続けていく。
浅沼副会長	土曜日のデマンド便の運行状況は。
事務局	土曜日の運行割合は、朝日地区で年間102便中30便が運行、宮崎地区巡回で102便中28便が運行、織田地区はありませんでした。
三木委員	越前町は鯖江市、越前市、福井市と隣接していることから、鯖江市のコミュニティバス（つつじバス）や福井市・越前市のコミュニティバスと接続すると、コミバスの利用率が上がり、利用者の利便も向上するのではないかと。 現在の70歳以上の高齢者割引だけでなく、乗り継ぎや乗車回数により割引制度を設けるなどすると、利便が向上するのでは。
事務局	近隣市を運行するコミュニティバスとの接続については、検討する余地はあるが、フレンドリー号が越町して運行する必要があると、近隣市との協議が必要。また本数や運行時間の調整も必要となる。ただ、近隣市への移動は、原則路線バスを考えている。コミュニティバス同士の乗換えには乗継券を発行し、最終目的地まで初乗運賃で利用できます。もともと乗車料金は安価であり、乗車回数による割引は乗務員の業務過多を招くため考えていない。
織田委員	利用率の悪い便は廃止することになるというが、具体的にはどの便が廃止になるのか、また、定時便昇格になるのはどの便になるのか。

事務局	特に運行状況が悪い、織田の土曜日は利用がないので、その便は当然廃止の対象になります。他地区のデマンドについても、時間帯によって運行割合の悪い便については廃止を検討します。朝日地区などの場合は 102 便中 30 便の運行割合であるが、2 回運行している内、1 便はほとんど利用がないことから、1 便を廃止し、2 便を定時昇格する方法が有効である。定時便に昇格することによって、電話予約の手間が省け、利用増も期待できる。
吉村委員	地域の要望で、路線や停留所の変更を毎年行っているが、運行開始から 7 年経つことので、骨格路線を作成して、要望に応えられるものと停留所を固定したほうがよいのではないか。
事務局	今後検討します。
	質疑応答終了、原案のとおり承認。

● その他

浅沼副会長	平成 23 年 1 1 月から運行改編した、京福バス路線について利用状況説明を求める。
矢部委員	福井市南部と越前町にまたがる地域の路線について、大幅に改正しました。西田中宿堂線・茱崎線を減便、織田線を廃線にし、それを補う形でほプラント 3 を起点とした、ほやほや号を運行開始しました。また、運賃に上限を設定し値下げをしています。利用状況は増加しています。西田中宿堂線で約 2500 人／月、茱崎線で約 3500 人／月、ほやほや号約 800 人／月程度で、現在も増加傾向にあります。

● 閉会